

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
私はSDGsと言わずとも自然と環境のことを考え、他者を慮ることができるような社会で生きたいと思います。	そのためには今SDGsを意識して行動するのが必要だと考えていて、小さいことでもエコを意識したり、こまめに電気を消したり、手の届くところから自分らしく注意を払ってそれを自然にできるように変えていくことが、今の自分にできることだと思います。
すべての人が自身の生活環境や身の回りの物に対して引け目を感じず、自分の欲望や意見を気軽に発信でき、それを人種や性別関係なく受け入れ、実行できる環境が整っている社会。100年後、500年後の遠い未来においても、社会が発展し続けているような想像ができる世界。	まず現在の暮らしの中でできることとして、環境問題に対するアクションとしては、3Rを心掛けること、油などを流さないこと、発展途上国へ寄附をすることなどが挙げられる。ジェンダー不平等に対するアクションとしては、ジェンダー平等を公約に挙げていたり、政策の一部に入れている政治家に投票すること、SNSでの発信の際に、ジェンダーで差別するような発言をしないことなどが挙げられる。その他の自分がまだ理解できていないようなことをこれから調べて理解していきたい。また、将来できることとしては、環境問題解決につながる機会などを発展途上国に伝える企業とともに働くことや自身が管理職に就いた際にジェンダー関係なく評価したりすることなどが挙げられる。
個性が認められ、他人に肯定的な社会。	自分と人を分けて考え、受け入れる。
性別や障がいなどによる差別や偏見がない世界	無意識のうちに偏見を抱いてしまっていることがあるので、自分の意見にとらわれすぎず、広い視野をもって生きる。
仕事のない休日に、生きていることを実感し、リフレッシュできるような、緑あふれるグリーンな社会	ゴミの分別、ゴミ拾い、公共施設を充足させてもらえるように税金をしっかりと納める、こちらの要望をかなえてくれるような代表者への投票を行う
多様な環境で過ごす多様な人々に関わることができる世界	普段から多くの人と会話をすることを意識したり、積極的に人が集まるイベントに参加したりする。
誰もが、身分、性別、出身などにとらわれず、活躍できる世界	自分自身、性的マイノリティの人たちや、差別を受けている人が身近にいたことがないので、まずは寄り添うための知識を身につけ、その人たちの意見に耳を傾ける。女性であることにとらわれず、社会で活躍できる人間になる。
誰もが笑顔で暮らせる社会 人と人が暖かく繋がれる社会	自分が幸せに生きる！ 自分の哲学を持ってそれに忠実に生きる。
私は人々のあたたかさが自然と溢れるような、誰も差別されない平和な世界に住みたいです	地域の人と交流を増やし、まずは自分から善を提供しその善を回していき、最終的には社会全体が人々の優しさで溢れるようにする
ジェンダーを皆が気にすることなくありのまま生きることができる環境にあること	様々な考えを持つ人の話、物語をたくさん聞いて知る
みんなが思いやりを持ってお互いに接することができる世界。	まず自分の周りの人を大切にする。自分が不調の時でもその気分を人にぶつけない。
持続可能で、デジタルが存分に活かされた暮らし良い社会。	私は電力会社で、持続可能な部分を担いながら、デジタル社会の構築にも貢献したいと考えています。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
東京一極集中ではなく、地方分散型が実現している日本全体で持続可能な社会	就職活動にて、東京本社の会社を選ぶのではなく大阪府本社や他の地域本社の会社を選び、そこで働き生活することによって地域経済への貢献を行うこと
障がいがある人や <b>LGBTQ</b> などマイナーな立場の人々も生きやすく、持続可能な世界。	日常の中でちょっとした助け合いをしたり多数の人の意見を取り入れること
安心して暮らせる世界、命が危険にさらされない世界	法令を遵守する。
誰もが偏見等を持たず、安心して暮らせる世界。	自分はまだ政策を実施する等の大きなことはできないので、自分たち周りの人たちの意識を変えていくことが大切だと思います。例えば、梅田でバイトをしており様々な外国の方が来られるので、その時の対応を誰であっても変えず、いつも通り親切に対応することなどができるとかなと思います。
公平感を感じられる悪意のない平穏な世界	情報の取捨選択の徹底
皆が笑顔で暮らせる社会	誰かを笑顔にする製品を提供する企業に入る 身近な人を幸せにする
誰もが「人間らしい」生活をできる社会・世界	税金をしっかりと納める。 差別を許さない。 困っている人に手を差し伸べる。
地球の環境にやさしい社会、環境を守る社会に住みたい。公害が発生した時代に比べると、現代は公害への対策などは行われている。しかし、一方で地球温暖化の問題や、第一次産業に関わる人の減少が原因で山が荒れていたりする。そういった問題を解決し、地球にやさしいだけでなく、環境を守る側になるような社会を目指したい。	私は父の実家が田舎にあり、山を持っている。今は親世代が管理を行なっているが、私たちの子ども世代が管理するようになって変わらず整備し続けることが一番身近なできごとだと考えている。
環境汚染が進行していない空気の綺麗な世界。(工場排煙・大気汚染の少ない社会)	エコバッグを持ち歩いたり、不要なビニールごみを出さないようにする。
不要なものを作り出しすぎない社会	いらぬものを買わない。まだ使えるのに捨てない。
小さなふとした笑顔が溢れる世界	実現するためには、動画であったような不登校の子どもや <b>LGBTQ</b> の方も含め、友達や家族など相手のことを真剣に考えたり、親身に寄り添うことができると思う。
海や川にゴミがない社会	ポイ捨ては絶対にしない。小さな袋を持ち歩いて、ゴミ箱がなくてもゴミを持ち帰るようにする。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
未来に希望が持てる社会。(年金がもらえないかもしれない不安や、少子高齢化による課題など今後生きていくのに不安があるため)	エコバッグや分別などSDGsの目標に対して自分ができていることを積み重ねる。 未来に希望を持てる社会に近づけるように自分が勉強する。
緑が多い環境で、見た目や考え方で差別されない世界。	様々な価値観を理解していく。
それぞれの生き方(結婚する/しない、子供をもつ/もたない、正社員になる/起業する/扶養に入る、パートナーの性別など)に対して、他人から強制されない、あるいは常識という名目で無言の圧力をかけられない社会。	まずは私自身が他者に対して先入観を持たずに接すること、将来的には自身の子供や関わる下の世代に同様のことを伝えていくこと。
生きづらさを抱えた人がいない社会に住みたいと考える。具体的には自分の性について悩む人、家庭環境で悩む人など。	社会課題解決に積極的な企業に就職する。組織の力を活かし課題解決の一員になりたい。
自分のやりたいことや、挑戦したいことを明示し、一般化されず、積極的に活動することができる社会。	頭ごなしに意見を否定するのではなく、そういう考えもあるのだなと考えた上で、異なる意見があれば、別の考え方という前提で意見を共有する。
人々が他人を思いやり、温かみのある平和な社会。	バイトで稼いだお金を自分のためだけに使うのではなく、寄付をするなど、困っている人のために使うこと。
世界中の人と人が仲良く、助け合いでつながる世界 国と国も争わない！	人と人のあったらいい関係性をつなぐ
他者に否定されず、自分の好きなことを好きなようにできる世界	多様性を他人に強要しない
全員が衣食住を得られる社会	食品ロスを減らす、リデュース、リユースを積極的に活用する。
海洋資源や陸上資源が今後も安定して獲得できる社会。	森林開発を進めると同時に木を育てるなど森林再生に力を入れたり、日頃からCO2削減を意識することで、気候変動を抑えて、海洋資源をこれまでと同じように獲得できるようにする。
ブラック企業や働きすぎがない社会	SNSなどで働き方改善の声をあげる
治安や差別、お金の問題など、不安を持つ人が最低限になっている世界。	普通の暮らしの中では、偏見などを持たないように努め、他者を傷つける機会を減らすこと。将来化粧品を通して、女性がより伸び伸びと自分らしく生きられる世の中の形成に貢献したい。
自然災害についてや老後の年金、治安などさまざまな将来への不安がなくなる世界。	日本や世界で起きていることに常に興味を持ち、選挙に行くなどして政治に参加する。
限りある資源を大切にできる社会。	適切なおごみの分別、エコバッグの使用、食べ残しを減らすこと。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
ストレスを感じることなく過ごすことができる社会	まず、自分がされたらストレスになってしまうような行動（妬み、僻み、誹謗中傷など）をしないように心がけることで周りの人にも影響を及ぼし、とりえず自分の周りだけでもストレスを減らすことで、いずれ社会からストレスがなくなるのではないかと考えます。
自然災害による被害や不安が少ない社会	防災意識の徹底 居住地選び
①私は、ジェンダー平等が実現され誰一人取り残されることのない社会・世界に住みたい。	②今でも多くの企業では、役員などにおいて女性の割合は低く、女性のキャリアアップは男性と比べて厳しいと感じる。これまでの時代背景や時の流れの影響があることは否めないが、女性ももっと積極的にキャリアアップをしたい、という意志を示していかなければならないと思う。私は社会に出たら、性別をネガティブに捉えず働きたい。私の母のように女性は妊娠や出産などで築いてきたキャリアを諦めなければならない人も多いが、その状況をもっと改善できるように政府や企業、社会に対して声をあげなければならない、という気持ちも強く感じている。
私が住みたい社会は、すべての人に平等に機会が与えられている社会です。平等かつ公平な社会は人によって基準が大きく異なるため、実現が難しいと思います。しかし、機会すら平等に与えられない社会は機会に恵まれなかった人があまりに可哀想なので嫌だと思いました。	すべての人に平等に機会が与えられる社会を実現するために、私は機会が与えられていない状況に気づくことが大切だと思います。例えば、LGBTQの方々の結婚です。私は、この問題がメディアで取り上げられるまでは彼らが結婚ができずに苦しんでいることに気がついていませんでした。だから、私たちが気づいて問題視することが普段から私たちができることであると思います。
自然が多くて楽しく生きていくのにたくさんの資金を必要としない社会	地球環境にやさしい生活を心がける、ものを増やしすぎずあるもので満足できるようにする
現時点で私が享受することができている生活の質が、死ぬまで保証される世界。	現在の社会・世界が抱えている多様な課題を正しく認識すること。
いかなる身体的特徴も個性として容認され、貶められることのない社会や、収入によるコンプレックスを抱き、他者を攻撃するような心の焦りが生じないような理性のはたらく社会	まずはコミュニティの中で、自分がそうでないことを周知していく必要があると考える。認めた仲間にもそのような思考を持つ者がいると知るだけでも、それらに対する理解がより深まるはずである。
生活水準が高い社会。平等な機会が与えられた上で、努力によって自らの道を切り開くことができる世界。生き甲斐、働きがいがある社会。	発展途上国への支援。来年度から働く先で懸命に働き、自分を含めた関わる人全てを幸せにできるような労働を行いたい。
公共や社会のことも考えて行動している社会 偏見や決めつけで物事が決定しない社会 新しいことに挑戦している社会 環境（社会的も含む）がより良い社会（衣食住、人間関係、地球温暖化など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状や課題を知る ⇒調べてみる、少し取組んでみる、取り組みを発信する。</li> <li>・批判的思考で物事を考える。</li> <li>⇒意見交換の時や話すときにその意見を話す。</li> <li>・どんな挑戦も応援する。挑戦を促す。</li> <li>・現状課題を知る、現地に行ってみる、意識してみる、少し取組んでみる</li> </ul>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
後の世代の人たちも自由に暮らすことのできる社会	少しでも将来の医療費を抑えるため健康意識を持つとしている
人びとが自然と共生している世界	公共交通機関を積極的に利用する 植林をする
犯罪率が減少して欲しい。	自戒の念をもつ。
現役世代に対する社会保障制度が充実し、子育てしやすい社会	現役世代の支援を公約に掲げている党への投票を行う
みんなが笑っていて平和な世界	困っている人を助ける
暮らしやすい平和な世界	人と争わない、他人の異なる考えを受け入れる
平和で、安心して生活できる社会の感じがあり、また、高い技術がどんどん進んでいるにつれて、生活が便利になる一方、競争性や自分の仕事を失わないようにする努力性を身につける必要がある世界であると思います。	今大学で学んだ専門知識を将来のやりたい仕事に活かし、目標としては、地域社会活性化に取り組みながら、より多くの人々に貢献できるプロジェクトを実現できるように頑張りたいと考えています。
人々が誰一人取り残されない社会	多数の傍観者のうちの一人にならず、誰に対しても気づかいすることがその一歩になると思う
私が住みたい世界は、環境資源で争うことのない世界です。持続可能な資源の開発や資源がとれない国でも工夫してエネルギーを生み出し無駄に環境資源を使わない仕組みを作ってほしい	私ができることは限られていると思うが、SDGsについて学び実践することが理想的な世界の実現に近づくための1歩だと考える
地球温暖化が急速に進み、夏はどんどん暑くなり、秋がなくなりつつあります。今までのように、春夏秋冬すべてがしっかりとある日本に戻ってほしいなと思います。	地球温暖化を抑制するために二酸化炭素排出量を減らす行動を心がけたいと思います。小さなことですが、詰め替え用商品を購入したり、マイバッグを持ち歩いたりなど、出来ることからコツコツと取り組みたいなと思います。
誰もが性別、年齢、国籍、宗教、文化的背景に関わらず尊重され、自分らしく生きることができる世界です。多様な価値観が共存し、それぞれが活かされることで、個人の可能性が最大限に広がる社会を望みます。	他者の意見や背景を尊重し、違いを受け入れる姿勢を持つ。差別や偏見に気づいたら、それを見過ごさず行動すること。
それぞれが自分らしく生きられる世界	それぞれの個性を認め、尊重する
金銭を理由に家族と離れなくて良い世界	現在ではひとり親への支援が充実しており以前よりもひとり親世帯が子育てしやすい世界になっているが、ひとり親ではない両親のいる世帯の支援は少なく物価上昇に伴って貧困に陥っている世帯も多く存在するためあえて離婚を選択する世帯がいるということを見聞きました。このような課題を解決するために政治に関心を持って選挙に行くことが私にできる解決策であると思う。
空気がきれいで、ごみの分別をせずによくて、生活必需品に大きなコストがかからず、環境など心に余裕ができてから考えることになる事案についてみんなが考えられる余裕のある世界。	ポイ捨てをしない。駐輪場を増やす。選挙に行く。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
だれもが自分のやりたい夢に挑戦するうえで障壁や障害を感じずに済むような社会。	社会的、経済的弱者や障害者が健常者と同じスタートラインに立てるようになるために今社会で行われている取り組みについて自発的に調べて興味関心を深める。
何度でも挑戦・やり直しができる社会	何かに挑戦する人や、挑戦したが失敗してしまった人、躓いてしまった人を支援する組織を設立する。
・戦争的な争いが無い世界 ・完全平等とまではいかなくとも世界中の人々が安心して安全に生活することができる社会・世界	上記に示した住みたい世界を実現する為の直接的な方法ではないかもしれませんがバイト先でゴミ箱を片付けるとき、必ず普通ゴミの中にペットボトルなどが含まれていないか確認し、分別するように気をつけています。将来できることとしては、お金が貯まればUNICEF等に募金して貧困地域の安全な生活に寄与したいと考えています。
皆が助け合える世界	毎日小さな手助けをする。 困っている人に手を貸す、話を聞くなど。
誰1人取り残されることなく、笑顔で夢を持って生きていける世界	相手の気持ちを考慮して発言・行動すること。仲間はずれを作らない。
ゴミの排出を最小限抑制し、人類共有の財である地球環境を未来永劫つないでいける社会。	洗い物が面倒といった理由で、使い捨てできる容器の食べ物で済ませるのではなく、極力ゴミが出ないように自炊を頑張ります。
私が住みたい街は、どの世代のどんな性別の人も安心して快適に過ごせるような場所である。また、人との不平等をなくす世界に住みたい。	私一人ができることは限りがあると思う。そこで、私ができることとして、「知る」こと「理解」することが大事だと考える。相手への理解を深めることで人と人の助け合いにつながると思う。
社会福祉が整っており、安心して安全なあたりまえの日常が送られ続けられる社会、子育てと仕事の両立ができる社会	自分の社会的責任を把握し果たすように生き、地域コミュニティへの積極的参加、社会貢献になるような活動、防災や防犯への取り組み、環境への配慮などといった行動をとること。子育てと仕事の両立ができる社会を実現することにおいては、社会の制度や世の流れがワークライフバランスに繋がっていくように、声をあげづけることが大切であると思う。今の社会は、育休やワークライフバランスなどといった取り組みに積極的に取り組んでいるように感じるがその中でも陰口をいうなど育休がとりづらい環境を作り出す要因がまだあるように思う。そのため、周りに仕事の負担がかからないような働き方を導入するなど不満を生じさせず快適に仕事が出来る環境づくりをしていくべきだと思う。
一人一人の意見が尊重される社会	言論統制などがない社会、自分の意見を否定されない社会
人々が不平等を感じる事のない社会	私は現在塾講師のアルバイトをしているため、今私にできることは私の手の届く範囲の学生さんに対し平等な教育のお手伝いをする事だと考えている。
高齢になっても健康な暮らしが提供されて暮らしやすく住み続けやすい世界。また人や国によって差別がなく平等で平和な世界。	街のバリアフリーにもっと目を向けたり、自分がこの先も働きがいをもてるかどうか吟味したうえで就職したり、今のうちからできる健康、予防をしておく。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
<p>私が住みたい社会は、すべての人が平等に尊重され、誰もが安心して暮らせる持続可能な世界です。貧困や飢餓がなく、教育や医療がすべての人に平等に提供され、自然環境が守られる社会を望みます。また、ジェンダー平等が進み、差別や格差がなく、多様性を尊重する社会であることも重要です。</p>	<p>省エネやリサイクルを積極的に行い、マイバッグやマイボトルを使用するなど、プラスチックゴミの削減に努めること。SDGsに関する知識を深め、周囲にも伝えることで、意識を広げる活動に取り組むこと。地域のボランティア活動に参加し、社会やコミュニティとのつながりを強めること。性別に関係なく公平に意見を聞き入れる姿勢を持ち、社会のあらゆる場面で平等を促進すること。</p>
<p>別の授業にて複雑化する地域課題には、地域コミュニティの縮小が理由の一つとして挙げられていることを学んだ。私はその授業の課題において、児童虐待について調べたので、私が今考える住みたい社会・世界は児童虐待のない社会であるなど考える。児童虐待は家庭内の環境だけでなく、加害者が社会的弱者であったりするようなことも理由として挙げられ、私たちも当事者であることを強く感じた。このような、地域課題に対して社会全体で取り組むような社会に住みたいと考える。</p>	<p>私ができることには児童虐待に関心を持ち、また、それを広めることと児童虐待の通告であると考えます。児童虐待への関心が広まれば、その地域や国では児童虐待に対する政策やNPOなどの活動が活発になると考えます。そして、児童虐待の通告義務は全員にあり、きちんと遂行することで、保護者とその子どもを守ることができ、健全な社会につながると考えます。</p>
<p>「好き」を自由に、干渉しない、されない世界。</p>	<p>自分をしっかり持ち、誰の意見も尊重できるように人と関わる。SDGsは持続可能な開発目標ということもあり、技術革新に目がいきがちですが、それよりもまずは一人一人が他人を尊重することが大事だと考えます。例えばインターネットが日常生活の一部と誰もが考える今の社会では、匿名性から相手に暴言を浴びせてしまう人々を毎日目にします。技術革新だけでなくそれを使う人間も精神的に革新していくことが重要です。</p>
<p>私は、人種差別をできる限りなくて違う国籍同士の人が平和に同じ国に住むことが出来る世界を作りたいと思っている。</p>	<p>私自身、名前から日本の国籍ではないと容易に推測でき、もちろん小学生の時代から現在に至るまで何不自由なく暮らすことが出来ている。しかし、SNSの投稿や街頭演説で私の国籍の国が絶対的「悪」として攻撃されているのを見るとやはり少し悲しい気持ちになってしまう。このような状況をできる限り少なくするための情報発信などが私にできる小さなことである。</p>
<p>環境保存を優先するあまりにサービスの提供に手間が発生したり、多様性を尊重するあまりに誰かの私利私欲が優先されてしまう社会は望ましくないと私は思います。そのためSGDsと生活のしやすさが共存する社会であって欲しいと思います。</p>	<p>“SDGs”を掲げること自体にその企業を良く見せる力があるため、アルバイト先や就職企業を選ぶ基準として、企業がその力だけに依存しているのではなく貢献もしているのかを考えることができると私は思います。</p>
<p>全ての人に平等な教育が与えられる社会。(都市部と地方による格差、いわゆる親ガチャなど家庭環境による格差の解消)</p>	<p>教育に携わるボランティア活動への参加、そういった活動をしている団体への寄付など。</p>
<p>どんな人も快適に暮らすことができる社会</p>	<p>譲り合いの精神を持って普段から生活することや有限資源の無駄遣いも減らしていきたい。また、社会人として働く中でも自分自身が叶えたい沢山の人のサポートするという想いを忘れずにいたいと思う。</p>
<p>私が住みたい世界は、地球温暖化が抑えられた世界です。なぜなら、年々夏の暑さが耐え難くなっており、生きづらくなっていると実感するからです。また、気温上昇だけでなく、海面上昇や台風の巨大化、豪雨、森林火災などの自然災害が引き起こされることで、さらなる被害、死傷者につながるからです。</p>	<p>ふだんの暮らしの中では、省エネや3Rの実践などの取り組みを意識し、継続的に実践することが大切だと考えます。さらに、こうした行動を人々みんなが心がけるようにするために、その重要性を発信していくことも大切だと感じます。</p>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
<p>挑戦をするサポート体制が整っている社会 →挑戦にかかる費用（留学、転職など）の負担をしてくれる制度 →失敗をした時のサポート （起業で失敗して負債を抱えたときのサポートする仕組み、転職活動に失敗したときのサポートする仕組みなど） 以上が充実している社会が住みたい社会だなと考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの人がしようとしている挑戦を、真剣に向き合って応援する。 （精神的なサポート）</li> <li>・周りの人が挑戦をする際に困っていること（人脈・技術など）に対して、自分自身ができる最大の手助けをする。 （技術面などのサポート）</li> </ul>
<p>ジェンダー平等が実現された社会</p>	<p>まず今できることとして、私が<b>LGBTQ</b>を特別扱いせず、当たり前のこととして受け入れ、普通に接します。さらに将来的には、もしも私に子供ができたとき、愛には色々な形があるということを教えたいと思います。</p>
<p>現在、奨学金を借りて大学に通っている学生の立場として、日本国内ではもちろん、全世界の子供や経済的問題を抱える人々が、楽に教育を受けられる体制の整った社会に住みたい。</p>	<p>直接的にできることはあまり考えられないが、日本国内に限れば自らの参政権を使うことが、間接的にそのような問題を改善することにつながると思う。</p>
<p>平和でみんなが健康で元気に暮らせる社会</p>	<p>まずは自分が規則正しい生活をする。そして周りの人で体調が悪そうであったりとか、困っていたりしている人がいたら、助けてあげる。</p>
<p>生まれた家の裕福さや教育への熱心さによって、子供達が教育の機会を得られなかったり、人生の進路が決まってしまう不公平な社会。</p>	<p>僕はいま千葉県庁から内定を頂いているので教育分野を扱う庁に入り、子供が若くして家計のために働かざるをえない状況にある家庭への金銭的補助や、SNS等の発達で勉強なんて〜という風潮が広まっているように思えるので、学歴というものの現実を発信し良い意味で教育に対する興味を持ってもらえる場所を作りたいです。</p>
<p>私は若者の政治的関心が高い社会に住みたい。SDGsに向き合う際にも、個人で出来ることには限界があり、やはり国主導で動かしていく必要がある。そのためまず、次の日本を担う若者の政治的関心を高め、SDGsに関わらず社会課題に真剣に向き合うリーダーを選んでいく必要があると考える。</p>	<p>個人に出来ることには限界があると思う。ただ、去年の衆議院選挙の際に私自身が感じたことだが、政治というのが意外におもしろいということを周囲の人に説いていくことはできる。このような地道ではあるが、一つ一つの積み重ねによってより良い社会の実現に貢献出来ると思う。</p>
<p>私は、自分も周りの人たちも幸せを感じながら生活できる世界に住みたいです。具体的には、経済的な格差や差別が少なく、誰もが自分のやりたいことに挑戦できるチャンスがある社会です。そして、自然や環境がちゃんと守られていて、次の世代のことも考えられるような持続可能な世界であってほしいと思います。また、いろいろな価値観や文化をお互いに尊重できる社会も理想的だと考えます。</p>	<p>正直、SDGsみたいな大きなことを聞くと、自分に何が出来るんだろうってちょっとプレッシャーを感じます。でも、今の自分でもできる身近なことを少しずつ続けることが大事だと思っています。例えば、環境を意識する行動を心がけることです。ペットボトルをできるだけ買わずにマイボトルを使ったり、ゴミをきちんと分別したりしています。あとはフードロスが減らすために、外食でも食べきれない量を注文するようにしています。そして、人とのつながりを大切にすることです。周りの友人や家族と、社会の課題について話したり考えたりする時間を作りたいと思っています。自分一人で解決できなくても、いろんな人と意見を共有することで新しいアイデアが生まれるかもしれません。また、将来に向けての学びを深めることです。今大学で学んでいることを活かして、地域や社会に貢献できる仕事に就きたいと考えています。たとえば、モノづくり企業のイノベーションやSDGsに関連するプロジェクトに携わることができれば嬉しいです。完璧なことではできないけど、小さな行動を積み重ねることで少しずつ社会にいい影響を与えられるようになりたいです。</p>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
資源枯渇の心配をすることなく、安心して電気やガス、水を使えるような世界。今の私たちの生活は電機やガス、水などを自由に使うことができ、本当に恵まれていると感じる。このような生活がずっと続けられるような世界にしたい。	普段の生活においては、節電や節水を心がけることはもちろん、世界の資源の使用可能年数が何年かなどを調べ、危機感を持つことが大切である。 また、将来は、家庭のエネルギー源を再生可能エネルギーにしたり、電気自動車に乗ったり、環境に配慮した製品を選んだり、資源を無駄にしない行動を心掛けていこうと思う。
環境にも人にもすべてに配慮した世界に住みたいと考えている。しかし、そのためには、現在のようなCSRが目的の形だけのSDGs対策だけでなく、全人類がSDGsを考えて行動すべきである。	日ごろからSDGsを意識しながら行動し、SDGsに真剣に取り組んでいる企業または、団体に所属できるよう努力すること。
いかなる人間にとってもあらゆる機会が開かれ、呼吸がしやすい社会。	自分こそが社会の一員であるという意識を持ち法律やモラルに違反することなく他人を思いやって慎重に生活すること。
多様な価値観を持つ人がある中で、人のために我慢したり、妥協したりすることが幸せだと気付ける社会に住みたいです。	駅で困っている人がいたら声をかけたり、普段の生活において心配りを忘れないようにしていきたいです。
いじめのない社会	誹謗中傷は絶対しない
環境に負担をかけず、異常気象や地球温暖化がこれ以上進まない世界	ものを大量に消費するのではなく、1つのものを長く使いリサイクルする。移動時に車を使うのではなく、できるだけ徒歩や電車を使う。
全ての人が平等で暮らしやすいと思えるような世界	普段の生活では様々な人の意見を聞き、多様な価値観への理解を深めたい。私は万博のボランティアを行う予定なので、そこで国内外の様々な人とコミュニケーションをとることで、更なる知見を得ようと考えている。また、将来はまちづくりに携わりたいと思っているので、全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインあふれた街づくりに貢献したい。
学校に行きづらい子供や、家庭に居づらい子供がどこかに居場所を見つけて、健康に自分らしく笑って暮らせる社会。	普段の暮らしの中では、塾講師のアルバイトで子供たちの成績の悩みだけでなく生活のことも話してもらえるような先生になる。将来的には子供たちの第2の居場所となる空間を提供できるような取り組みをしたい。
私が住みたい社会・世界は自然環境が保たれ、将来の世代が安心して暮らせる持続可能な環境が維持されている世界である。	環境負荷の軽減を心がけることである。 レジ袋やペットボトルの利用を減らし、マイバックやマイボトルを持ち歩くことで無駄なゴミの発生を減らせるだろう。また、ゴミの分別を徹底しリサイクルを心がけたり、フードロスを減らすために余った食品は寄付や再利用したりすることも効果的だろう。
全ての人、動物などの生き物が快適に暮らせる世界。	私たちができることは、自分だけの世界ではなくみんなの世界だという意識を持つことが大切である。この意識があれば、ポイ捨てによって海の生き物が死んだりせずすむし、モノをリサイクルすることで地球温暖化が進んで北極の氷が溶けホッキョクグマの生存が脅かされる心配もなくなるからである。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
町が清潔に保たれていて、みんなが受けてほしい教育や医療を受けられる社会	大学を卒業したあとに就職して税金を納める
世界全員が健康でいられる世界。子供達が全員のびのびと成長することができる社会。	募金活動などでの貧困地域への支援。将来的に青年海外協力隊など自分自身でサポートできるようになりたいと考えています。
エネルギーや資源の枯渇に関する心配がなく、将来に対する漠然とした不安感を抱かずに過ごせる社会。	徒歩や自転車、公共交通機関を使うなど次世代に向けてまずはエネルギー資源を節約するよう努める。
みんなが笑顔な社会	自分発信で他人に嫌な気持ちにすることを無くす。
誰もが平等にチャンスを得られ、差別や貧困がなく、自然と共生できる持続可能な社会です。教育や医療が行き届き、すべての人が安心して暮らせる世界を目指したいです。また、環境への配慮が当たり前となり、次の世代にも豊かな地球を残せる世界であってほしいです。	ふだんの暮らしでは、無駄な資源消費を減らすためにエコバッグを使ったり、食品ロスを出さないよう心がけたりしています。また、地元の清掃活動やリサイクルに参加しています。将来的には、SDGsを意識した仕事やプロジェクトに関わり、持続可能な社会の実現に向けて具体的なアイデアや活動を広めたいと考えています。
私が住みたい社会・世界は生きている人々がそれぞれ自分なりの幸せを感じることができるような社会・世界です。欲張りな世界かもしれませんが、生きている人全員が前向きな感情を持って生活していけるような環境が世界中に生まれることが理想だと感じます。	思いやりを持った行動だけでは人を変えられないし、依存してしまうだけになるので変わりたいと前向きに思えるように背中を押してあげられるような言葉や行動ができることだと考えてます。
将来に希望を持てる世界。	今の日本では特に政治が問題だと思う。これからの日本がより良い国になるため参政権を持つ国民一人一人が自覚を持って、日本の将来について真剣に考えて投票に行くべきだと思う。
誰もが安心して不自由なく生活できる社会。	社会は人と人との助け合いの上で成り立っているので自分が困った時に助けてもらえるようにするためにも、普段から困っている人を助けるようにする。当たり前のことですが駅や街中でも困っている人に見向きもせずその場を去っていく人が多いので、そういった身近なところから意識ができていなければもっと大きな取り組みを実現することはできないと思います。たとえそれが他人でも手を差し伸べることが私のできることだと思います。
将来世代と今の世代両方のニーズを満たせる社会を作るために人口の多い層を優先するのではなく、人口の少ない層、今でいうと高齢者だけでなく若者に対しても社会的に有利になるような政策を行って両方ともに与えられるメリットを平等にしてほしいなと思う。	そのために私ができることの中で一番容易なのは選挙に行くことだと思う。しかし高齢者にとってより良いマニフェストを掲げている人のほうが人口が多い層からの支持を得られるため、我々若年層はできるだけ選挙に参加し、前者ができるだけ票が分散することを祈るしかないと思う。
やりたいことがやれる社会。	性別などの偏見にとらわれない。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
自然を守りながら共生できるような世界	ゴミの分別や無駄なゴミを無くすなどの当たり前に行えることを当たり前にする
資源を有効に活用して持続的に社会機能を維持し続けられて、将来的にも不自由なく快適に生活し続けられるような社会	電気やガスなどを無駄遣いせず、水も無駄遣いしないようにしてできるだけ再生可能エネルギーを利用するようにする。
働きがいと経済成長の両立を実現し、質の高い教育や福祉、環境保全等の未来への投資を行う世界	自分にとって働きがいを感じられそうな会社に就職する。そして幅広い、大規模なフィールドで活動し、経済成長に寄与し、また事業を通して多くの人の生活を豊かにしたい。
他人同士が思いやりをもった温かい社会でありつつ公平・公正が担保された中で皆が競争しお互いを高め合っていく社会	公正・公平が担保されるためにはまず格差や貧困をなくすことが大切となると思う。そのため政策や政治においてその不平等性を解消するために選挙に積極的に参加したり、地域貢献などのボランティア活動などに参加しそこで貧困や格差について解消の手助けをするとともにそれについて学ぶ必要があると考える。
家事育児などの仕事を性別関係なく、夫婦で分担することが当たり前である世界	風潮に流され、自身が女性という立場を利用して男性に求める人になるのではなく、こちらの女性側からも男性側に寄り添い、男女平等を目指すこと。
街にゴミが一つも落ちていない、緑豊かな世界。	ポイ捨てによる罰則を厳しくし、緑は特に住宅街が多い場所に植物を植えていく。
人々が平等に機会を持てる社会	まずは自分自身が偏見や固定観念を捨て、平等を望む志を持つこと。その上で将来にかしらの権力を得た場合は、その志をもとに人々に平等の重要性とその可能性を説き、様々なことに対して、人々がそれぞれ持ち得る社会的弱点までも踏まえて平等な観点から決定を下すこと。このように自分やその周りの人々などの小さい部分から変えていくことが自分にできることだと思う。
私が住みたい社会、世界は人々が笑顔で生活できる世界です。	<b>SDGs</b> の観点で理想の社会の実現のために私ができることは、 <b>SDGs</b> の内容をもっと深めることです。私含め <b>SDGs</b> の名前は聞いたことがあってもその内容を詳しく把握している人はいないと思います。高校時代 <b>SDGs</b> の達成目標であるひとつの「飢餓をゼロに」に対してフードロスの観点から調べプレゼンをするという課題をしたことがありますが、それ以降自分の中で食材を大事にする行動ができるようになったと思っています。このように <b>SDGs</b> の内容を深める課題を推奨することで、暮らしやすい世界が目指せると思います。
すべての人が身体的・精神的に健康で幸せに暮らせる社会	身近な人の悩みに耳を傾け、思いやりのあるコミュニケーションを心がけることで、他者のウェルビーイングをサポートすること

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
<p>私が住みたい世界は、ありきたりかもしれませんが、優しさにあふれた世界です。今の世の中も十分優しさにあふれた世界かもしれませんが、まだまだ見えないところで他人を尊重できなかったり、誰かを攻撃したりするような悲しい現実が無数に存在しています。私自身も優しい人であり続けることを常に心がけているものの、どこかで自分の偏った考えを優先して誰かを傷つけてしまうことがあります。老若男女、マジョリティー、マイノリティー問わずみんなが幸せに生きられるように、一人一人が優しさをもって生きられたらと思います。</p> <p>また、人に対してだけでなく、ほかの生物や環境、モノに対しても優しさを持つことができたらより世界が優しさであふれるのではないかと考えます。</p>	<p>まずは、思いやりのある行動です。感謝の気持ちを伝える、電車で席を譲るなど日常の些細な行動の連鎖が優しさにあふれる世界の実現に直結すると思います。</p> <p>次は、共感と理解です。異なる立場の人の気持ちを理解しようとする姿勢をもち、共感することで信頼関係が築かれると考えます。</p> <p>次は、ボランティア活動です。地域や困っている人々のためにボランティア活動に参加することで優しさを広めることができると考えます。</p> <p>最後は人、モノを大切にすることです。これまで出会ってきた人たちや、これまで使ってきたものを長く大切にすることは優しさの証だと考えます。日々、新しい出会いに目を向け、これまでの出会いを忘れてしまうとこれまで築き上げてきた関係が薄れてしまいます。人や物を大切にすることで感謝の心がはぐくまれ、優しさを持つ人間として成長すると思えます。</p>
<p>誰もが平等にチャンスを得られる世界</p>	<p>普段のくらしのなかで偏見をなくすこと</p>
<p>私の地元は鹿児島県だが、大阪に上京してきて地域に広がる格差や利便性の差異を大いに実感した。それと共に鹿児島県の持つ魅力についても理解できた。</p> <p>そのため住む地域で格差のない、自分の住んでいる地域の魅力を最大限享受できるような世界に住みたい。</p>	<p>①私は将来、IT企業の自治体向けの営業に携わるが、そこではIT技術を利用し、交通インフラの開発や市役所の窓口業務の改善などを行える。実際、宇都宮市に交通インフラを導入し移動格差をなくすという目的を達成した事例もある。このように将来自分の務める会社で事例のようなことを達成し、自分の住む町に対して利便性と魅力を感じ取れるよう社会貢献を行っていきたい。</p>
<p>戦争がない世界で、個々の個性や考え方、文化が尊重され差別などがない社会 自分の意見を恐れずに発信できる社会</p>	<p>他の国や考えが違う人を一概に否定することはせず、受け入れて理解すること</p>
<p>全ての人が医療や教育を平等に享受できる世界</p>	<p>全ての人が教育や医療を享受するためには世界にある経済的な不平等を解決しないといけない。一学生の私が世界の経済的な不平等に触れるためにはフェアトレードの製品などを買うことやボランティア活動に参加することで少しでもそのような世界へ寄与できるのではないかな。</p>
<p>ゴミの少ない社会</p>	<p>普段からゴミを見つけたらゴミを拾います。</p>
<p>現在と未来においてあらゆるひとに利益・幸福がもたらされる社会</p>	<p>SDG s 実現のためのプログラムを行うためのクラウドファンディング等に支援する</p>
<p>僕は、誰もが譲り合いのできる社会に住みたいと思う。</p> <p>時々、電車で優先席でなくても高齢者や多くの荷物を持った人に席を譲る人を見ることがあり、このような人がもっと増えれば良い世の中になると思ったからだ。</p>	<p>一度でもいいから自分から勇気を持って席を譲ることで、席を譲ることへのためらいをなくす。</p>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
<p>私が住みたい社会はお互いがお互いのことを思いやることのできる社会です。SDGSにもこの思いやりは必要です。人々が自分のことだけでなく自分以外の人や社会全体のことを気にかけて生活を送ることがSDGSにもつながることがあると考えられます。</p>	<p>そんな社会にするためには一人一人が他人や社会を思いやる意識を持つことが不可欠です。私自身としては、他人の行動は自分では変えることができないので、自分の行動を見直すことが大切と感じました。</p>
<p>すべての人が健康寿命=寿命を達成できる世界。</p>	<p>自らは運動の習慣を付け、健康増進に努め、将来的には、第一志望である食品、飲料メーカーに就職し、簡単に、味わいながら健康を維持できる商品をつくりたい。</p>
<p>人々が共存し、誰かを思い遣って生きている世界</p>	<p>相手の立場になって考えること、食事を残すときでも自分は満足に食べているが、食べれていない人もいるのに残すのはどうなのだろうか。などといったことを考えるだけでも未来は明るいと思います。</p>
<p>偏見や固定観念などで他人から自分の生き方を決め付けられない社会。</p>	<p>自分が持っているものの見方や価値観が自分の勝手な思い込みや固定観念である可能性を考え、全てリセットし、まっさらな気持ちで世界を見る</p>
<p>どうしても避けられない自然災害によって苦しむのは自分にもいつ降りかかってくるのかわからないので災害に巻き込まれたときの負担を少しでも少なくできるような社会。</p>	<p>大学生になるとアルバイトをして自由に使えるお金を得ることができるので、それを自分のためだけでなく災害に巻き込まれて苦しんでいる人のために募金という形で支援すること。</p>
<p>私は本当に必要としている人に必要なものが届けられる社会に住みたい。</p>	<p>普段の暮らしの中では、節電・節水、食べ残しをしない、ポイ捨てをしない、ゴミの分別をするなどの小さなことしかできませんが、ひとりがちょっと気にするだけで、そのひとりが何億人という規模になれば大きな変化につながると思います。また、知らない人や遠い人の助けになることは難しいですが、身近な人で困っている人がいたら、親身になって話を聞いて、こんな社会保障があるんだよと説明するだけでもその人の選択肢が大きく広がることにつながるのかなと思います。近くにある小さな困りごとを解決できる人になりたいです。</p>
<p>悪くない人がSNSなどの炎上などで社会的に追い込まれることがない世界。</p>	<p>誰かが傷つくような発言はどのような場においても慎む</p>
<p>戦争や紛争がない世界。 ニュースを見ていて、政府や組織に関係のない小さな子供や人々が空襲を恐れながら過ごしている光景や、怪我を負い家族を失っている現実が受け入れがたい。 貧困がない世界。 生まれた国の経済発展によって幼いころから労働をするしかない選択や十分に医療を受けることが出来ない子どもがいる現実が辛い。誰もが将来の選択肢を自由に選べ、医療を安心して受けることのできる世界であってほしい。</p>	<p>戦争に関心を持つこと。戦争に対して直接的に阻止する力は持っていないので、少なくとも、そのようなことが起きている現実や経緯等は知っておくべきだと思う。 貧困に関しては、募金やボランティア等、自ら行動し直接的に支援ができると思う。</p>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
みんながそれぞれの違いを尊重できて、人に優劣をつけるという概念のない世界	違いを尊重することについては、今どんなにリテラシー観念が進んでいる国でも完全には達成されていないことで、とても難しいことだと思います。ましてや何十年と欧米諸国に比べ遅れていると言われる日本はより難易度の高い課題です。私は日本は大好きですが、国の中枢に立ってその課題を根本から解決したいというようなエナジーはなく、そこに向き合っていく人生は望みません。しかし、一人間としても将来子供ができた時、子供と接することがあった時、家庭環境や性格、身体的特徴などいろいろな違いについてフラットに伝えられると良いと思います。違いに対して一度でも優劣をつける癖がついた大人より、純真な子供、いわば日本の未来の様な存在にそれを伝えられた方がより効果的と考えたからです。
先天的なもので差別されない努力が評価される世界	成果主義の仕組みを増やす。
環境が保護されてる世界、地球温暖化が抑制された世界	再生可能エネルギーの使用、プラスチックごみの削減、エコ商品を選ぶ。
sdgsの3番の観点から、いまだにホームレス問題が解決できていないため、すべての人々が福祉をしっかり受けていない状態です。そのため、すべての人々が最低限の福祉が受けられる社会が住みたい世界だと考えます。	官民一体になることが非常に重要だと考えます。そのため、ホームレス問題を解決している団体に所属しながら、解決策と一緒に模索していきたいと思います。
多くの人が自由に過ごせるような世界	最低限の生活の水準を上げるために募金を行う
無駄なごみが排出されることなく廃棄物を再利用できるエコな社会	リサイクルできる商品を使う
自分が住む社会・世界に誇りを持てる世界。	自分たちが住む地域のすばらしさ、地域の価値を再認識すること。
先進国の人々が、途上国の貧困層の人々を救う意識を持っている世界。	フェアトレード商品を選ぶことであらゆる貧困層の飢餓や病気を防ぐ。エコバッグの使用が地球温暖化の抑制に寄与し、気候変動による災害で命を落とす人々や動物を救う。節水を心掛けることで清潔な水を手に入れることが困難な人々の命を救う。私たちにとっては些細な気遣いが巨大な力となって世界中の人々を救うことができる。
普段思っていた理想的な社会・世界には様々なものがある。第一に、環境に優しい社会であり、今まで提起されてきた様々な環境問題の解決に向かい、未来に対する懸念を一部分減らしておきたい。また、貧困のない平等な社会は、現実的に不可能であることは承知であるが、アフリカ各地などで多発している極端な貧困は解決すべきだと思う。最後に、次世代に責任を先送りにしない社会に住みたい。	日常生活の中でできることは何があるかという、第一に、環境に優しい生活をするのである。節電・節水を実践したり、エコバッグを使用したり、リサイクルに心がけることなどがある。また、 unnecessary消費を抑えることや、困っている人や団体に寄付することも考えられる。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
<p>新社会人になってから、信頼を持って年金を払える社会。税金は高すぎても、必要なところに使われればいいが、それぞれが投資して良いと考えている部分が異なるから、現実的に税金は西ヨーロッパのように高すぎないでほしい。また、私が思う理想的な社会像は出身や宗教、障がいなどの差別がなくみんなが気軽に自由に交流できる社会だ。なぜなら、自由な交流から総合知が生まれ、その過程で互いを尊重しながらよりみんなが暮らしやすい社会ができるためだ、これは制度や福祉に限らず、多方面で持続可能な開発にも繋がると思う。</p>	<p>私は現在、日本で大学に通っている韓国出身の留学生であって、韓国人留学生会の学内の団体で日韓だけではなく様々な国籍と交流するイベントの開催に取り組んでいる。この活動は互いを知ることによって世界平和にもつながると思う。また、私は将来、組織コンサルタントになる目標も持っている。これは将来日韓さらにはよりグローバルなビジネスの懸け橋になるのが目標である。多様な背景の人々が良いサービスや商品を開発できることに限らず、様々な顧客に配慮して価値を創ることができると思う。</p>
<p>災害が多く、特に南海トラフ地震の発生が予想される現在の日本社会、とりわけ大阪において、災害の影響を最小限に抑えつつ発展し続けていけるような世界。</p>	<p>環境・防災の問題について一人一人が日頃から意識すること。例えば、電力の使用量を抑えること、ハザードマップを確認することなど。</p>
<p>誰もが平和に穏やかに暮らせる社会になってほしい。</p>	<p>平和に暮らすには何よりも安全に健康に過ごすことが大事なので地震などの天災は仕方ないにしても人間活動による気候変動から起こる災害などは起こらないようにすべきであると思う。なので普段からマイボトルを使うなど気をつけられるところは意識して気をつけたいと思う。ただプラスチックストローを廃止して不衛生な紙ストローにするなどは少し違うと感じた。</p>
<p>無駄がない世界。過ごしやすい気候で過ごしたい。夏は暑すぎず、冬は寒すぎず。地球温暖化という言葉を目にしたくない。</p>	<p>とにかく節電。日頃から無駄をなくすことからスタートする。また、将来的には新しい電気や生活の形を世帯で作れるように。</p>
<p>絶対に生きることに困窮することのない社会</p>	<p>行政の方向性を決める選挙において適切な判断のもと投票する</p>
<p>争いのない社会</p>	<p>自分勝手な行動をしない。出会う人に優しい気遣いをする。</p>
<p>私が住みたい社会は、すべての人が自分らしく生きられ、環境と共生しながら平和で持続可能な未来を築ける世界です。SDGsの「誰一人取り残さない」という理念を大切に、特に貧困や不平等の解消、環境保護、ジェンダー平等に取り組む社会が理想です。大学生として、身近なエコ活動や多様性を学ぶ機会を活かし、小さな行動から取り組んでいきたいです。</p>	<p>ふだんの暮らしでは、エコバッグやマイボトルを使い、ゴミ削減や食品ロス防止に努めるなどのことができます。また、多様性を尊重し、ジェンダーや環境問題について大学の講義などを通して学びます。将来は、自分の学びを活かして、社会課題解決に貢献する活動に取り組みたいです。</p>
<p>頑張っている人、正しいことをしている人等、評価されるべき人がきちんと評価される世界</p>	<p>自分が常に正しい行動をしていく</p>
<p>争いがなく平和な世界で、国籍や人種関係なく助け合える世界。1人1人の命が大事にされる世界。</p>	<p>偏見などで差別をせず1人1人を尊重する。優しい心を持つ。</p>
<p>一人一人が希望を持っている社会</p>	<p>一人一人の意見を尊重すること。また、助けを求めている人に手を差し伸べること。</p>
<p>環境にやさしい社会</p>	<p>買い物でビニール袋を毎回消費しないためにマイバックを持ち込んだり、古着を選ぶことで新しい衣服の過剰な消費を抑えるなど、物の消費を削減する。</p>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
避難所に逃げなくていい世界。災害が発生した際に、近くの小学校や公民館などの避難所に行った場合、狭い、周りが気になる、などストレスのかかる生活が強いられると感じている。そこで自宅で安心して「籠城」できるような世界を作り出したいと感じている。	主に2つあり、1つ目は耐震基準を満たした高強度な剛性の高い家に住むこと。実際に私が就職する企業では鉄骨ラーメン構造を用いたユニットを組み合わせる工法を採用しており、高強度の家の提供、実際に自分が住むことを可能にしている。2点目は食料の買い込み、およびその食料の流動性を上げることである。賞味期限を把握しながら食品を買い込み使うことで数日間の食料を確保することができる。
皆が現状や将来に不安を感じる事が少なく、貧富の差はあれど、好きなことに挑戦できるような世界。また、現代は人々が細かなことに敏感で生き急いでいるように感じるので、もっと心に余裕を持って楽観的にのびのびと生きられるような世界を望みます。	社会が持続可能なものにするために、環境に優しいものや、資源を使用する。ネットの利用リテラシーも重要になると思うので、正しい使い方をする。
みんながお互いのことを考えて生活していける世界	自分に都合がいいから、といて、変なゴミの捨て方をしない。
子どもたちが笑える社会	常に人の役に立つことを意識しながら生活する
ゴミが落ちていない世界	普段の生活の中で自分が捨てることのできるごみを拾って捨てる
私が住みたい社会は、誰もが平等に安心して暮らせる、持続可能な世界です。	リサイクルやごみの分別、マイバッグやマイボトルの使用、節電・節水を心がける。地域経済を支え、輸送に伴う環境負荷を軽減するために地元産品を購入する。SDGsや環境問題について自分が学んだことを周囲に伝え、行動の輪を広げる。地域の清掃活動や社会福祉関連のイベントに積極的に参加する。教育やスキルアップを通じて、より良い社会を作るための役割を果たす準備をするなどのことができると考えます。
差別がなく平等な社会	偏見をなくす
人間だけでなく、その他動植物も共存できる持続可能な社会。	普段の生活の中で、リサイクルを徹底し、ゴミの分別を適切に行うことで環境負荷を減らす。また、エコ商品や地産地消の食品を選び廃棄物を減らすことで自然への負担を軽減して、生態系を壊さないようにする。
全ての人間が目標に向かって物事に取り組み、その過程で得た出会いや経験、知識などを十分に享受できる世界	常に平等と公平について思考し、自分と違う立場の人の考え方や取り組みを受け入れることができるように知識をつけること

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
<p>僕が理想とする社会・世界は、多くの人々が平等に機会を享受できる世界です。現在の日本社会では、経済的格差や教育機会の不均等が依然として存在しており、それが個々の人生に大きな影響を与えています。私が住みたい世界は、これらの格差ができるだけ縮小され、すべての人々が学問やさまざまな分野で平等なスタートラインに立ち、努力次第で自分の夢を実現できる環境が整っている社会です。また、環境への配慮が社会全体で重要視される世界も理想的です。現在、プラスチックごみなどによる自然環境への負荷や破壊が進んでいます。このような現状において、一人ひとりが環境問題に対する意識を高め、持続可能な社会を実現することが急務だと考えます。私たちの生活がどれほど環境に影響を与えているかを理解し、その影響を最小限に抑えるための取り組みが重要です。さらに、できるだけ多文化共生が進み、異なるバックグラウンドを持つ人々が互いに理解し合い、共に社会を築いていける世界が望ましいです。こうした社会が広がることで、より良い世界が築かれると信じています。</p>	<p>そのような理想の社会を実現するためには、まず日常生活における意識改革が必要であると考えています。例えば、環境問題に対しては、プラスチックごみを減らすために、使い捨てのプラスチック製品をできるだけ避け、リサイクル可能な素材を選ぶことを普段から意識しています。また、食料品の購入時には、必要以上に買わず、無駄を出さないよう心がけることで、食品ロスの削減に努めています。こうした日常の小さな取り組みが、持続可能な社会の形成に寄与すると考えています。さらに、教育機会の平等を実現するための取り組みとして、現時点では自分にとって実践が難しいものの、将来的には地域活動への参加が有効だと感じています。例えば、教育格差を縮小するために、地域の子どもたちへの学習支援や、困難を抱える家庭へのサポートに取り組むことが考えられます。また、大学内外での学びの場の提供や、他の学生と協力して実施するワークショップを通じて、知識や情報を広めることも重要な取り組みの一つです。将来的には、起業や非営利団体の立ち上げを通じて、自分が育った街や都市が抱える社会問題に対して、直接的な解決策を提供することにも挑戦したいと考えています。これらの取り組みを通じて、持続可能で平等な社会の実現に貢献できるよう努力していきたいです。</p>
<p>私が住みたいと思える社会は、とにかく平和な社会です。一口に平和な社会といっても難しいですが、人が理不尽に不幸を被ることが無いようなものを想像しています。</p>	<p>先に挙げたような社会を実現しようとしたら、途方もないほど課題が山積みなことは分かりきっていますが、SDGsには差別や飢饉をなくすなど平和な社会に不可欠なものが多く掲げられています。中でも自然を大切にしたり差別意識を持たないといった事は個人でも出来ることだと思うので、ゴミの分別を徹底するなど普段の生活における小さなことでも意識してSDGsの大きな目標に繋がってきたいです。</p>
<p>自然と共生した、都会の中にも緑あふれる社会</p>	<p>自然環境に配慮のある会社や団体の商品を選んで買う</p>
<p>空気が澄んでおり、将来に対する不安が少なく、動植物と人間が共生できている世界。</p>	<p>車やバイクではなく、公共交通機関を使うことで温室効果ガスを発生させないようにすることや、環境意識を強く持つことで、地球温暖化を進行させるような行動をとらない。</p>
<p>放置されたゴミが一切なく、衛生的にも見た目的にも綺麗な社会</p>	<p>ゴミは持ち帰る。ゴミ箱に捨てる。</p>
<p>世界に住む人々が皆違いを認め合うことができる世界です。</p>	<p>僕自身が皆の違いを認めることで、そういった心がけが広がるようにします。</p>
<p>人種差別のない世界</p>	<p>他国の文化について理解を深め、多国籍な人々と交流する</p>
<p>持続可能な社会で、私たち以降の世代にとって、今よりも住みやすくなる社会。</p>	<p>居酒屋のバイトにて、疎かになっているゴミの分別を見直す。先日、ゴミの分別に関する注意喚起の紙をいただいた。この紙を参考に分別を行う。 また、近い距離は車を使わずに歩き、将来買うことになる車は排気ガスに配慮した車を購入する。</p>

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
みんなが笑って暮らせる社会	周りの人と手を取り合い自分勝手にならないように生きる
一人一人が他人に対して仲間意識を持ち、様々な課題に対して社会全体が積極的に取り組んでいく社会。	身の回りで起きていることやニュースを他人事だと思わずに、目や耳を傾け興味を持ってみる。
私は持続可能な社会に住みたい。世界中のみんなが餓死することなく、幸せに暮らせる機会が平等に与えられた社会が理想だ。また人々の幸せだけでなく、動植物にとっても生活しやすい社会であればなお素敵だと思う。	「持続可能な社会を構築しよう」という意識を持つことが最も重要だと考える。「自分さえよければ、今よければ」の意識を改革するべきだ。その意識改革によって、一人一人の小さな行動が変わり、世界単位で考えると大きな前進となる。例えば日常生活の事で考えると、食べられるだけの量を買う、電気・水の無駄遣いをやめる（歯磨き中は水を止めるなど）、モノを使用期限の限界まで使用する、などがある。このような些細な行動が、世界中の人々のため、さらには次世代のためになることを私も含め再認識すべきだ。
私が住みたい社会は、持続可能で誰もが安心して暮らせる世界です。 具体的には、環境負荷を最小限に抑えながら経済活動が成り立ち、教育や医療が平等に提供できる社会です。また、個々の価値観が尊重され、すべての人が自分らしく生きることができる社会が理想です。 特に、地域社会においては、地元の資源や文化を活かしながら、新たなテクノロジーを取り入れる姿勢が大切だと考えています。	ふだんの暮らしの中でできることとして、 エコ意識を持った生活をしていこうと思います。省エネルギーや再生可能エネルギーを活用した生活を心がけたり、ごみの分別やリサイクルを徹底し、できるだけプラスチックの使用を減らす。 また、地元の農産物や製品を選び、地域経済の活性化に貢献することもできると考えます。  将来できることとしては、 大学で学んだ知識を活かし、持続可能なビジネスモデルの開発や地域活性化に取り組むことや、自身のキャリアにおいて、社会課題の解決を目指すビジネスを展開することが挙げられる。
酷暑などといった気候変動や異常気象が小さく、環境への負荷が小さく持続可能な社会で、さらに街にサービスが行き届き、将来への不安がなく過ごすことのできる社会や世界に住みたいと考える。	SDGsへの取り組みを積極的に行っている商品や企業のサービスを意識的に選ぶようにし、コストで選ばれるのではなく、環境に配慮されたものが積極的に選ばれるような社会づくりに貢献する。また、SNSに関する取り組みについて知るようにし、周りに広めていくよう意識することが、できることであるとする。
高齢者になっても安心して暮らせる社会。	年金・保険制度について知識をもつこと。また、それを踏まえて政治に少しでも関心をもって選挙にいくこと。
空気が綺麗な世界	できるだけ省エネ行動を取るようになる
世界全員の将来の可能性を狭める事象がない、または全員が同じ条件でなくても差が埋められるサポートがある社会。たとえば家の仕事を手伝う必要があるため学校に行けない、周りにいないから「宇宙飛行士になりたい」とすら思いつかないことは、将来の可能性を大きく狭めていると思う。	当事者意識をもつこと。 自分が不自由なく暮らしているから、後回しにしてしまう。  また「意識高い系」を怖がらないこと。 環境問題や社会情勢について真剣に考えたり、取り組んだりすることは「意識高い系」だと言われたりするが、それに怯えず自分を貫くことが大事だと思う。誰かが表明しないと誰も言い難い雰囲気になってしまう。

①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
人種、国籍に関わらず同じ人間として接し合える世界	差別、偏見などを持たず相手のことを知ることを大切にする。
地球の資源やエネルギーに不安のない社会、いわゆる持続可能な社会に住みたい。	エネルギー問題に当事者意識を持つこと。
<p>現在、自分たちの日常には当たり前のように飲むことができる水があり、当たり前のように登校する学校があり、当たり前のように休日は友達と遊びに行くように、世界のどこかで戦争が起きてもスマホの画面で認識していて裕福であることはいいことだが、少し平和ボケしていて、このような世界が子供、孫、さらにその下の代にも続いていくと思っている。しかし、世界だけでなく日本にもそのような幸せな暮らしが出来ていない人がいることを忘れてはいけないと思う。私はそのような人たちの存在を忘れない、その人たちのためにまずは小さく一歩踏み出して行動できる社会を目指していきたい。</p>	<p>普段から自分の事だけでなく、一歩自分から離れた人の存在を意識して生活することが大切だと思う。ゴミが邪魔だからポイ捨てをすると周りの人、拾う人がいて、ご飯を残すとそれを作ってくれた人、捨てる人がいて、大袈裟かもしれないがこの一歩自分の外の人の存在を考えてみることの積み重ねが私が望む社会を実現させるための近道だと思う。</p>
変化という刺激が常にある世界。	人間が意図的に起こしていることでも人工的ではあるが人も生物なので自然なことだと思っている。したがってSDGs 実現のために自分は特に何もしようと思わないので何もしない。他の人がSDGs 実現に貢献するのも人間という生物の自然な営みだと思う。
貧富の差に関係なく好きなことが学べる世界	私の教えられる分野（語学など）を非営利団体に参加して、子どもたちに教える。
技術発展と環境保全が両立された社会	限りある資源を有効に使うため、エコバッグやマイボトルなどを利用する。
誰一人お金に困らない社会	自治の仕方に対して意見をいう